

キウイスラング

ニュージーランドを離れて何年も経ちますが、キウイ（ニュージーランド）スラングはまだ頭から離れません。日本に住んで3年、たくさんの日本スラングも自然と身につけてきたので、今月のニュースレターでは両方の好きなスラングを紹介したいと思います。

ニュージーランドでは様々なスラングがありますが、今回は日常によく使う言葉を教えます。まずは、キウイのスラングでよく使う「heaps（ヒープス）」から始めます。これはニュージーランドで「たくさん」という意味でよく使われる言葉です。日本語のスラングで言うと「いっぱい」や「めっちゃ」に近いと思います。「I ate heaps. (めっちゃ／いっぱい食べた)」のように文の中で使うことができます。

次は「sweet as（スウィート・アズ）」。これは「全部大丈夫、問題ないよ、ナイス」って意味です。次の「chur」は「sweet as」と似たような使い方、「ナイス」と言う意味もありますし、「ありがとう」と言いたいときや、何かに同意するときにも使います。日本語の「うっす」などと同じような使い方です。

ほかにもよく使うキウイのスラング：

- Keen（キーン）－何かを誘われた時によく使う言葉です。行きたい気持ちはあるけど、あまり表に出さないようにしている感じです。「Yeah, I'm keen (イエア・アイム・キーン)、うん行きたい・したい。」
- Wopwops（ウオップウオップス）－「ど田舎」や「めちゃくちゃ遠いところ」を意味します。「あそこはwopwopsだよ」と言われたら、かなりの田舎だなんてわかります。
- Oi（オイ）－挨拶、注意喚起、呼びかけなどいろんな使い方があります。

どちらの言語もスラングは人とつながるために使われますが、使い方に違いがあると感じました。キウイスラングはほとんどいつでも誰にでも使えますが、日本のスラングは親しい人や決まった場面で使うことが多く、より深い感じがします。

次、私のお気に入りの日本のスラングを紹介しま

- やばい（yabai）－これ、本当に魔法みたいな言葉だと思っています。使い方によって「すごい」とか「大変だ！」とかいろんな意味があったり、様々な場面で使えるから面白いです。ニュージーランドでは似たような言葉がないです。
- マジ？（maji?）－「やばい」のように様々な使い方があって、色々な感情を伝える言葉で、日常に欠かせない言葉となりました。
- それな（sorena）－「まさにそれ！」とか「その通り！」という意味で、友達と話が盛り上がっている時に、よく使います。



スラングは人との距離を縮める大切なものですし、言葉を楽しむひとつの方法でもあります。毎年のように新しいスラングが生まれているので、これからどんな言葉が流行るのか楽しみです。皆さんのお気に入りのスラングがあれば、ぜひ教えてください。

FacebookやInstagramで香取市での生活や観光、ニュージーランドの文化など英語と日本語で発信しています。見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非Facebook・Instagram・3階の商工観光課にてお声掛けください。

